

# グリーンタイムズ GREEN TIMES

〈特別号〉  
(全国緊急事態宣言中)

2020.4.21 Vol.69

## 「人と社会に応える」 代表取締役 小池 修

クレイブ社は創業時「人と社会に応える」の企業理念に基づき、社会インフラに特化して派遣をスタートさせました。

生活ごみの収集、道路清掃、郵便事業や病院給食、資源リサイクルなど、そのどれもが社会インフラとして欠かせないものでした。その、社会に役立つ業務に特化した結果、事業所が閉鎖されて自宅待機というスタッフさんが本日現在、一人もありません。

約300名のスタッフさんがこの新型コロナ騒動の中、毎日各事業所にご精勤くださっているという状況なのです。このことは、この世界的緊急事態の中で、まさに奇跡というものでしかありません。

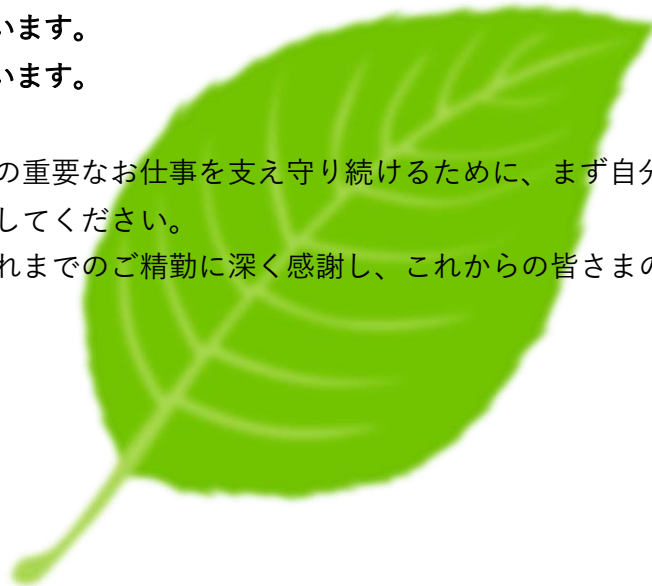
それはひとえに重要な社会インフラを支えているという、スタッフの皆さんの認識とその責任感の強さに他ならないと思います。心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

**私たちが東京を支えています。**

**私たちが東京を守っています。**

これからは、家族やこの重要なお仕事を支え守り続けるために、まず自分自身を守るのだということ強く認識して行動してください。

スタッフの皆さんのこれまでのご精勤に深く感謝し、これからの皆さまの健康と安全を心から願っております。



## 「灯りは灯されている」 専務取締役 池田 知恵子

全世界で新型コロナ感染者がすでに200万人を超えて、グリーンタイムズが発行される頃には一体どんな数字になっているのでしょうか。こんなに超現代にあっても、新型感染症が世界を震撼とさせるなんて、人間は万能ではないのだと改めて思い知ります。

現在新型コロナウイルスに対して既存の薬剤の有効性が次々と報告されています。

また、感染して回復した人の血液を使った抗血清療法が、早期に安価で安心に実用化が可能という知らせがカナダからもたらされました。

かれこれ5か月近く続く騒動に、世界中の人々が疲弊し始めている中、なんとも嬉しい報告です。

灯りは灯されています。あきらめず、今しばらくともに闘い続けましょう。

クレイブスタッフの皆さんも社員のみならず、日々続く緊張の中で業務にあたってくれていることに、心から感謝申し上げます。また派遣先様の日々の安全へのご配慮にも心より御礼を申し上げます。